

第8回

2012 全国大学生協 読書マラソンコメント大賞

今年も全国から 6,059 通のコメントが寄せられました。
そのうち、徳島大学から 3 名のナイスランナー賞が選出されました。

優秀作
発表

祝！！ナイスランナー賞

ペンネーム ☆ほんださん ☆

書名：「恋文の技術」（ポプラ社）



赤い風船に手紙を箱に入れて誰かに送る。そんなお物語の
ようにふわふわした計画を、小学生の頃に実際に行動に
移したことがある大学院生、宇田一郎が物語の主人公です。
「相手に読んでもらう手紙を書くにはどうしたらいいか」とか
相手の返事を待つ期間の楽しみ方とか、いざ返事が
届いた瞬間に開ける時の楽しみ方とか、手紙を何度も読み返す
楽しみとか、手紙を渡した後に手紙を送り、恋文の技術を
獲得したら、手紙を書き続ける彼と友人を見て、私もメールや
ツイートの代わりに一通、大切な友人に送りたかった。思いました。

ペンネーム ☆しばさん ☆

書名：「シューカツ！」（文藝春秋）



感想 「悔いが残らないように、全力で就活に取り
組もう」そんなことを考えさせてくれる一冊でした。
人間味あふれる元気のヒロイン予備校を中心に、7人の
「シューカリプロジェクトチーム」の就活を描いています。
マスコミへの就職という同じ目標を持った7人が力を
合わせ、時には励まし合いながら就活をしがたがしい
就活の前に挫折してしまうこともあります。とてもリアルな
描写で、就活への不安に陥れる場面もありましたが、
自分の夢に向かって努力する7人の進むべき道に負けてはいら
ません。就活本番前にこの本に出会えて本当に良かったです。

ペンネーム ☆ロジウムさん ☆

書名：「絡新婦の理」（講談社）



感想 書店で見るとの圧倒的な厚みに驚いた今年。どう
読む事か出来た。待望の一作でした。今までシリーズ中4作を
読んでいましたが今日の日は、最も自分好みに読んで思
います。
一般的に推理小説と言いつつ、犯人を主人公にしないかきり
犯人に同情するということも少ないですが、犯人もまた
被害者である（これを比喩的に意味で言うと、実際に次の
事件の被害者になる）という本作の構造は、犯人への悲しみ
を高めるといっていいかも知れません。
千二百ページが何の障りもなく読みました。名作です。